

西中われら



学校の教育目標：自ら学ぶ 共に生きる 努力一輪 4本柱：授業、挨拶、掃除、合唱

『熱意』をもって輝く2025年を創りあげよう！

校長 細井 孝治

あけましておめでとうございます。今年も生徒たち、保護者、地域の皆様にとって、素晴らしい年となることを願っております。

いよいよ今年度も、残すところ3ヶ月です。どの学年も進学や進級を控え、まとめや準備をする大切な時期です。そんな皆さんに、松下電器（現パナソニック）を一代で築き、世界的な大企業にした松下幸之助さんの言葉を紹介します。

賢愚（かしこさとおろかさ）の差より、熱意の差が、人の価値を決める。

松下幸之助さんによると、人の賢愚の差なんてたかが知れていて、そんなに変わりがないそうです。違いができるのは、物事に対する人の熱意の差だということです。その熱意の差が、人間の価値まで決めると言い切っています。

皆さんは新年を迎えるにあたり、「今年はこんなことがやりたい！」「こんなことを目指したい！」という決意を立ててきたことと思います。是非、その決意が実現するように、『熱意』をもって取り組んでほしいと願っています。松下さんは、「『難しいことだが、やろう！』と努力し続けていれば、必ず事は成る。『もうできない』とさじを投げたら永久に事は成らない」とも言っています。熱意をもってねばり強く続けることを、今年も大切にしてほしいです。そして、それが自分に自信と誇りをもたせることにつながっていきます。

決意を達成するための秘訣をもう一つ。それは、目標を立てたら、まず一步を踏み出すこと。目標倒れにならないように、具体的な行動をおこすこと。そうした日常の行動を積み重ねる（日常から自分を出し切る）ことによって目標を達成することができます。

これからの3ヶ月間は、3年生は卒業後の新しい進路、1・2年生は新しい学年に向けての心構えをつくる大切な期間となります。走り高跳びでは、より高くジャンプするのに、力強い助走が必要であるように、4月に大きく飛躍するために、残りの助走期間を大切にしなければなりません。

3年生の皆さんは、進路実現に向けていよいよ勝負の時です。最後の最後まで気を抜かず、目標を自分の手でつかみ取ってください！また同時に、西中の伝統や誇りを後輩たちにしっかり残してやってほしいし、質の高い4本柱を、日常生活から出し切る姿を、自分たちの姿で後輩に見せてやってください。

2年生の皆さんは、今年の西中の主役です。令和7年度の西中学校は、最上級生となる君たちが中心となって創り上げるのです。今、西中学校は、みんなの頑張りによって「日常から自分を出し切る！」ことが、当たり前になる学校になってきました。その校風をより確かなものとしていくのが2年生の仕事です。最上級生に向けての準備を、一人一人がしっかりと行ってください。

1年生の皆さんは、もうすっかり西中の生徒になりました。仲間と声をかけ合い16kmを踏破した「森高ハイキング」、係やリーダーの呼びかけに応え、元気な歌声を響かせている合唱活動など、本当によく頑張ってきました。残り3ヶ月、自分たちの成長を確かめるとともに、4月から先輩となって西中の伝統を、姿で示すことができるようにしていきましょう。